

## 戦略 4 躍動する「やまなし」へ進む道

# 「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	4	躍動する「やまなし」へ進む道
----	---	----------------

政策	1	地域を担う人財づくり（再掲）	計画掲載施策数	12
<p><b>【政策の基本的な考え方】</b></p> <p>産業構造が大きく変化する中で、この変化に対応した人材の育成を図るとともに、若者の県外への流出を防ぎ県内への定着を図るために、県内への就職を促していく必要があります。</p> <p>このため、産業人材を育成する教育機関等の持つ専門的な知見を十分に活用する中で、産業界との連携などにより、地域の産業に求められる技術等を習得する機会を提供するとともに、起業や社会の課題解決等に資する能力を身につけるために必要な教育を実施し、地元で活躍する人材の育成を進めます。</p> <p>また、県内企業や山梨で働く魅力の発信により、県内就職やUターン・Iターンを促し、必要な人材の確保を図ります。</p> <p>加えて、DX人材の安定的な確保・育成に向け、中学校・高等学校でデジタルスキルを学んだ生徒が大学で更に磨きをかけ、社会人となって活躍することに加え、中学生・高校生などを指導するという自発的な循環サイクル「DX人材育成エコシステム」の形成を進めます。</p>				
令和5年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」構想の推進		P.132	知事政策局 外
	○ 全ての県民のデジタル・リテラシーの向上		P.132	DX・情報政策推進統括官
	○ ICT人材の確保・育成の支援		P.133	DX・情報政策推進統括官
	○ DX人材育成エコシステムの形成		P.133	DX・情報政策推進統括官 外
	○ 人材確保対策の推進		P.134	多様性社会・人材活躍推進局
	○ 新時代の観光業を支える人材の育成		P.135	観光文化・スポーツ部 外
	○ 農畜水産業の人材の確保・育成		P.136	農 政 部
	○ 林業の人材の確保・育成		P.137	林 政 部
	○ 次代のやまなしを支える人材の育成		P.137	県民生活部 外
	○ 技術系人材の育成・確保		P.138	多様性社会・人材活躍推進局 外
○ 建設産業の担い手確保に向けた魅力発信		P.139	県土整備部	
○ 働き方改革の推進		P.140	多様性社会・人材活躍推進局	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		6,754 百万円	
	前年度までの事業費		一 百万円	
	本年度の事業費		6,754 百万円	

	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成果指標	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	現況値 (現況年度)	進捗率(%)
成果 指標 の 達成 状況	4-1-1 「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」構想の推進 (多様性社会・人材活躍推進局)				
	豊かさ共創スリーアップ推進協議 会参加企業数	—	500社 (R5～8累計)	361社 (R5)	72.2
	やまなしキャリアアップ・ユニ バーシティ利用者数	—	2,000人 (R5～8累計)	264人 (R5)	13.2
	やまなしキャリアアップ・ユニ バーシティ利用者満足度	—	80%以上 (R5～8平均)	92% (R5)	115.0
	4-1-2 全ての県民のデジタル・リテラシーの向上 (DX・情報政策推進統括官)				
	DX推進に必要となる思考や取組 事例等を学ぶ研修等受講者数	1,400名 (R4累計)	5,000名 (R8累計)	5,711名 (R5累計)	119.8
	4-1-3 ICT人材の確保・育成の支援 (DX・情報政策推進統括官)				
	AI・データ利活用等DXに関す る相談に対応可能な企業数	6社 (R4)	15社 (R8)	8社 (R5)	22.2
	4-1-4 DX人材育成エコシステムの形成 (DX・情報政策推進統括官)				
	DX人材育成エコシステムによっ て輩出されたDX人材の数	—	300名 (R8累計)	42名 (R5累計)	14.0
	4-1-5 人材確保対策の推進 (多様性社会・人材活躍推進局)				
	県内出身学生(新卒者)のUター ン就職率	26.7% (R4)	35.0% (R8)	27.7% (R5)	12.0
	4-1-6 新時代の観光業を支える人材の育成 (観光文化・スポーツ部)				
	高度な観光人材を育成する講座等 の受講者数	—	定員を充足 (R8)	—	—
	4-1-7 農畜水産業の人材の確保・育成 (農政部)				
	新規就農者数	1,273人 (R1～4累計)	1,400人 (R5～8累計)	344人 (R5)	24.6
	農地集積率	47.0% (R4)	55.0% (R8)	48.1% (R5)	13.8

	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成果指標	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	現況値 (現況年度)	進捗率(%)
成果 指標 の 達 成 状 況	4-1-8 林業の人材の確保・育成			(林政部)	
	林業への新規就業者数	34人/年 (R 4)	50人/年 (R 8)	43人/年 (R 5)	56.3
	4-1-9 次代のやまなしを支える人材の育成			(県民生活部)	
	若手研究者への研究支援の人数	10名 (R 4)	32名 (R5～8累計)	8名 (R 5)	25.0
	高校生・大学生等の海外留学への支援人数	1名 (R 4)	24名 (R5～8累計)	5名 (R 5)	20.8
	4-1-10 技術系人材の育成・確保			(多様性社会・人材活躍推進局)	
	産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、宝石美術専門学校、甲府工業高校専攻科（創造工学科）の定員充足率	62.6% (R5入学者)	88% (R 8)	56.9% (R 5)	△ 22.4
	4-1-12 働き方改革の推進			(多様性社会・人材活躍推進局)	
	働き方改革アドバイザーによる企業訪問	延べ529社/年 (R 4)	延べ2,200社 (R5～8累計)	延べ530社 (R 5)	24.1

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」構想の推進（再掲）  【政策企画グループ】 ③⑥ 【産業政策課】 ① 【労政人材育成課】 ②④ 【観光文化・スポーツ総務課】 ⑤	企画総務費 ( 12,027) 11,963 ③⑥  労働教育費 ( 27,577) 0 [ 27,577] ②  職業能力開発総務費 ( 74,728) 74,352 ②④	関係者による豊かさ共創基盤の構築に向けた共同宣言や豊かさ共創の理念に賛同する企業からなる協議会を設立した。 また、労使が目的意識を共有するための関係構築の後押しや、企業の収益向上を促すためのリスキリング支援拠点「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」を開講した。 これにより、労使が共益関係を育む中、働き手のスキルアップ、企業の収益アップ、賃金アップに繋げるスリーアップの好循環に賛同する企業の増加に寄与した。 ①豊かさ共創基盤の構築に向けた共同宣言 令和5年6月 ②豊かさ共創スリーアップ推進協議会の設置 令和5年10月 スリーアップ宣言企業 361社 ③豊かさ共創フォーラムの開催 2回 ④やまなしキャリアアップ・ユニバーシティの開講 令和6年1月 ⑤観光経営人材の研修プログラム検討に向けた意見交換の実施 3回 ⑥豊かさ共創普及啓発動画作成 長編・短編各5本
全ての県民のデジタル・リテラシーの向上（再掲）  【DX・情報政策推進統括官】 ①②	情報管理費 ( 144,092) 115,814 ①②	デジタル技術を活用した変革を自分事として実践していくために必要となるマインドセット（物事の見方や考え方）の醸成を図るため、それぞれの立場や理解度に応じた学習のためのオンライン講座やワークショップの実施等により、様々な学ぶ場を提供し、自分事として考え、行動するためのきっかけづくりに取り組んだ。 これにより、県民のデジタル・リテラシーの向上に寄与した。 ① DXに関するオンライン講座の実施 30回 参加者430人 ② DXに関するワークショップ等の実施 225回 参加者5,281人

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
ICT人材の確保・育成の支援 (再掲)  【DX・情報政策推進統括官】 ①②③	情報管理費 ( 17,915 ) 17,480  ①②③	<p>県内で社会全体のDX加速化に必要な先端技術を扱う人材を確保・育成するため、既にデジタル技術に素養のある県内ICT企業に従事している技術者向けに、先端技術のスキルを習得するためのAI・データ利活用スペシャリスト育成講座等により、即戦力となるスペシャリストの育成を促進するとともに、AI等先端技術の基礎を学習してきた学生等を対象に、その分野のスペシャリストを目指す契機となるようハッカソン*等を開催した。</p> <p>これにより、AIやデータ利活用を支えるICT人材の育成に寄与した。</p> <p>① AI・データ利活用スペシャリスト育成講座の実施 参加者 25人</p> <p>② AIハッカソンの開催 参加者 36人</p> <p>③庁内DX研修の実施 4回</p>
DX人材育成エコシステムの形成 (再掲)  【DX・情報政策推進統括官】 【義務教育課】 ①② 【高校教育課】 ①③ 【私学・科学振興課】 ④	教育指導費 ( 48,579 ) 48,375  ①②③  企画総務費 ( 24,970 ) 24,970  ④	<p>DX人材の安定的な育成・供給に向け、中学・高校でデジタルスキルを学んだ生徒が大学等で更に磨きをかけながら、中高生などのデジタルスキル習得の指導を行うとともに、商工会等を通じて中小企業等のDXを支援する自発的な循環サイクル「DX人材育成エコシステム」の形成に向けた取り組みを進めた。</p> <p>これにより、デジタルスキルを身につけた中高生・大学生の育成が進み、DX人材の安定的な供給に寄与した。</p> <p>①「中高生PBLプログラム」の開催(再掲) 8回 参加者 中学生5人 高校生20人</p> <p>②中学生のための「デジタル1dayワークショップ」の開催(再掲) 3回 参加者81人</p> <p>③「情報I」の実践的な学習の推進(再掲) 県立高校28校 履修生徒3,831人</p> <p>④大学生PBLプログラム実践モデル事業の開催 8回 参加者17人</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
人材確保対策の推進（再掲）  【労政人材育成課】 ①②③④⑤⑥	職業能力開発振興費 ( 9,137) 9,121 ①  職業能力開発校費 ( 185,736) 152,686 ②  雇用対策費 ( 134,313) 108,238 ③④⑤⑥	<p>県出身学生に加え、キャリアアップやライフイベントを契機として本県での就職を考える若年層に対して、やまなし暮らし支援センターを拠点として就職支援や情報提供を行い、UIJ ターン就職につなげる機会の拡大を図った。</p> <p>また、人口減少傾向が続く中、人材確保・育成を強力に推進するため、企業と求職者のマッチング機会の提供を図るとともに、求職者の相談窓口の設置や職業訓練を実施した。</p> <p>企業が持続的成長に向けた経営革新に取り組むことができるよう、副業・兼業を含む専門人材の活用を行う企業の拡大を図った。</p> <p>これにより、定住人口の確保及び県内企業が必要とする人材の確保に寄与した。</p> <p>①山梨県ものづくり人材就業支援事業による奨学金返還認定 25 件</p> <p>②離職者等に対する職業訓練の実施 49 コース 受講者 378 人</p> <p>③やまなし暮らし支援センターにおける就職相談 514 件</p> <p>④ UI ターン就職促進協定校と連携した座談会の開催 2 回 参加学生 25 人</p> <p>⑤合同就職フェア等の開催 対面 4 回 オンライン 2 回 参加 企業延べ 356 社、求職者延べ 377 人</p> <p>⑥プロフェッショナル人材戦略拠点の運営 相談 330 件 成約 91 件</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
新時代の観光業を支える人材の育成 (再掲)  【観光文化・スポーツ総務課】 ① 【観光振興課】 ②③ 【スポーツ振興課】 ④ 【労政人材育成課】 ⑤	企画総務費 ( 2,348) 2,348  ④  産業技術短期大学校費 ( 3,360) 3,189  ⑤	観光産業で働く人々が高いスキルとやりがいを持ちながら、質の高いサービスを提供できるよう、経営マネジメント人材などの研修プログラムや若手料理人の育成支援のあり方などについて検討を進めた。 経験豊富なサイクリストを講師に招聘し、必要な観光案内や安全走行などの知識、技術を学ぶサイクルツアーガイドの養成講座を実施し、複数のサイクルツアーにおいて活用した。 これにより、新時代の観光業を支える人材の育成に寄与した。 ①観光経営人材の研修プログラム検討に向けた意見交換の実施(再掲) 3回 ②若手料理人コンペティション調査の実施 ③「ワイン県やまなし美食ブランド創造アドバイザー」との意見交換の実施 ④サイクルツアーガイドの養成・活用 ガイド養成 14人(累計29人) ガイド活用 延べ137人 ⑤産業技術短期大学校観光ビジネス科 県内企業就職率 100%



施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農畜水産業の人材の確保・育成（再掲）  【担い手・農地対策課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪ 【農業技術課】 ⑨ 【果樹・6次産業振興課】 ⑬ 【農村振興課】 ⑬ 【耕地課】 ⑫	農業改良普及費 ( 327,050) 270,104 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑩  土地改良費 ( 8,716,297) 5,155,733 [ 3,380,431] ⑦⑪⑫  農地調整費 ( 90,978) 89,137 ⑪  農地総務費 ( 14,414) 9,619 ⑫  果樹園芸等振興費 ( 662,224) 465,116 [ 150,000] ⑬  農業総務費 ( 5,803) 5,484 ⑬	農畜水産業の人材を確保・育成するため、新規就農者に対し就農支援段階から就農後の定着・経営発展までの経営指導及び技術指導を行うとともに、農業生産施設等の導入や企業の農業参入等を支援した。 また、市町村が進める地域計画の策定を支援するとともに、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施により、担い手等への農地の集積を推進した。 これにより、新規就農者は344人、参入等企業も12社になるとともに農地の担い手への貸し付けが進み、人材の確保・育成及び農地集積率の増加に寄与した。 ①就農支援マネージャーの設置 2人 ②就農相談会の開催 合計12回 (県内4回 県外5回 オンライン3回) ③やまなしあぐりゼミナール研修生 29人 ④新規就農者育成総合対策事業による補助金交付 就農準備資金 28人 経営開始資金 87人 経営発展支援事業 9人 ⑤親元就農者経営安定支援事業による補助金交付 25人 ⑥やまなし就農ライフサポート事業による情報発信、体験 ホームページによる情報発信 8回 オンラインイベントの開催 2回、参加者98人 バスツアーの開催 2回、参加者37人 チャレンジ農業体験 体験者5人 ⑦参入及び規模拡大企業 12社 ⑧シニア世代向け農業技術研修 5コース37人 ⑨リカレント教育の機会の提供 講習会動画の作成と県HPでの公開 6教材 ⑩地域計画策定支援 協議の実施 70地区 ⑪農地集積面積 116.4ha 農地中間管理事業による貸付面積 358.1ha ⑫農地の集積・集約化に向けた基盤整備の推進 中山地区 外48地区 ⑬農業生産施設等の導入支援 53件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
林業の人材の確保・育成（再掲）  <b>【林業振興課】</b> ①②③④	林業振興指導費 ( 72,132) 65,989 ①②③④	<p>林業の魅力の効果的に発信することで、新規就労者の確保を支援した。</p> <p>また、農林大学校森林学科のカリキュラムや技術研修会などを通じて、高度な知識と技術を身につけた人材の育成に取り組んだ。</p> <p>併せて、林業経営体における勤務条件や福利厚生などの労働環境の改善等、新規就労者の働きやすい環境を整える取り組みを支援した。</p> <p>これにより、林業の人材確保・育成に寄与した。</p> <p>①新規就業者の確保</p> <p style="padding-left: 40px;">森林林業体験ツアーの開催 2回 インターンシップの実施 参加者 11人</p> <p>②農林大学校森林学科の運営</p> <p style="padding-left: 40px;">農林大学校森林学科入学者 10人</p> <p>③現場管理責任者育成研修の実施 11日</p> <p>④新規就労者の技術習得期間中の奨励金の助成 23人</p>
次代のやまなしを支える人材の育成（再掲）  <b>【私学・科学振興課】</b> ①②④ <b>【義務教育課】</b> ③④ <b>【高校教育課】</b> ③④	企画総務費 ( 8,802) 8,646 ①②④  教育指導費 ( 291) 195 ③	<p>次代のやまなしを支える人材育成を図るため、「山梨県大村智人材育成基金」を活用し、中高生の優秀な研究等を表彰するとともに、若者の海外留学や若手研究者の研究環境の充実などに向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、グローバルな視野、高度な知識・技術などをもつ若者や若手研究者の育成に寄与した。</p> <p>①若者の海外留学に対する支援 5人</p> <p>②若手研究者の研究活動に対する支援 8人</p> <p>③中高生の優秀な研究等に対する表彰</p> <p style="padding-left: 40px;">大村智自然科学賞表彰 中学生 1人 高校生 1団体（6人）</p> <p>④未来の科学者訪問セミナーの実施</p> <p style="padding-left: 40px;">小学校 16校 中学校 8校 高校 3校</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
技術系人材の育成・確保（再掲）  【労政人材育成課】 ①②③④ 【産業振興課】 ⑤ 【高校教育課】 ⑥ 【政策企画グループ】 ⑦	職業能力開発総務費 ( 7,277) 6,751 ① 職業能力開発振興費 ( 3,997) 3,894 ② 産業技術短期大学校費 ( 519) 387 ④ 宝石美術専門学校費 ( 75,900) 74,295 ⑤ 教育指導費 ( 2,699) 2,655 ⑥ 企画総務費 ( 4,994) 4,818 ⑦	<p>本県産業を支える技術系人材を育成・確保するため、産学官が連携して策定するアクションプランに基づく取り組みの推進や産業技術短期大学校及び峡南高等技術専門校における人材育成プランに基づく取り組みの推進を図るとともに、宝石美術専門学校や甲府工業高校専攻科（創造工学科）における人材育成の充実、機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還や産業技術短期大学校等への就学を支援した。</p> <p>また、地域産業界が求める実践力・即戦力を持つ人材を育成するため、大学等の講師や企業の第一線で活躍する技術者等の招聘を実施した。</p> <p>さらに、サイエンスを基盤にしなやかな頭脳と豊かな感性を持つ人材を育む高専の開設に向けた検討を進めた。</p> <p>これにより、技術系人材の育成を推進し、本県産業への人材供給に寄与した。</p> ①産業技術短期大学校等の学生への就学給付金支給 5人 ②産学官連携人材確保・育成推進会議の開催 令和5年8月 ③産業技術短期大学校等の入学料減免 7人 ④産業技術短期大学校における AI 関連の授業の実施 令和5年10月～令和6年3月 ⑤宝石美術専門学校運営連絡会議・学校関係者評価委員会 の開催 4回 ⑥甲府工業高校専攻科創造工学科 三期生 県内企業就職率 100.0% ⑦技術系人材育成機関の設置可能性基礎調査の実施 令和5年7月～12月

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
建設産業の担い手確保に向けた魅力発信（再掲）  【建設業対策室】 ①②③④⑤ 【技術管理課】 ⑥⑦⑧	建設業指導監督費 ( 2,429) 1,409 ①②③④⑤  土木総務費 ( 4,499) 4,189 ⑥⑦⑧	<p>「地域の守り手」として役割が期待される建設産業の持続的な発展のため、関係団体等と連携して行う担い手確保・育成事業において、特に次代を担う子どもたちが建設産業に関する理解を深めるための施策を展開するとともに、研修や支援業務を通じて建設現場における生産性の向上や経営基盤強化等に取り組んだ。</p> <p>これにより、建設産業の担い手確保・育成及び子供たちの建設産業に関する理解の促進並びに建設現場における生産性の向上が進み、建設産業の持続的な発展に寄与した。</p> <p>①建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の開催 2回</p> <p>②若手技術者等との意見交換会の開催 5回 参加者 214人</p> <p>③技術者等による出前講座・建設産業説明会の開催 9回 参加者 389人</p> <p>④就職・進学パンフレットの作成、配布 15,000部</p> <p>⑤新規入職者フォローアップ意見交換会の開催 参加者 27人</p> <p>⑥ i-Construction*の推進会議の開催 令和6年2月</p> <p>⑦ ICT 施工研修会等の実施 5回 参加者 92人</p> <p>⑧ ICT 活用工事支援業務の実施 各建設事務所 8件</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>働き方改革の推進 (再掲)</p> <p>【労政人材育成課】 ①②③④⑤</p>	<p>労 働 福 祉 費 ( 20,127) 16,209 ①②③④⑤</p>	<p>県内中小企業における働き方改革を推進するため、企業に対する専門家等による支援、セミナーの開催及び出前研修等により、ICTを活用した業務改善や働きやすい職場環境の改善を支援した。</p> <p>これにより、県内中小企業における働き方改革の取り組みの推進に寄与した。</p> <p>① YAMANASHI ワーキングスタイルアワード表彰式 令和6年3月</p> <p>②働き方改革セミナーの開催 令和5年10月</p> <p>③働き方改革出前研修の実施 令和5年9月(2回)</p> <p>④働き方改革アドバイザーによる企業訪問 延べ530社、専門家の派遣 延べ87社</p> <p>⑤働き方改革等実態調査の実施 令和5年12月～令和6年1月</p> <p>【企業調査】 県内に本社又は事業所がある企業 回答 1,422社</p> <p>【従業員調査】 調査対象の企業で働く従業員 回答 2,381人</p>

# 「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	4	躍動する「やまなし」へ進む道
----	---	----------------

政策	2	教育の充実	計画掲載施策数	15
<p><b>【政策の基本的な考え方】</b>          家庭環境や本人の特性等にかかわらず、誰一人取り残されることなく全ての子どもたちの可能性を引き出す教育を実現する上では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、VUCA時代に必要とされる資質・能力を備えた人材の育成等が必要です。          このため、きめ細かな質の高い少人数教育の推進やICTの積極的な活用、キャリア教育の充実等により、確かな学力や自己肯定感の向上を図るとともに、自ら課題に立ち向かうことができる力を育む教育環境の整備を進めます。          そして、学校の授業に、子どもが学習状況を自分で判断して学習を進める「自由進度学習」などを導入し、従来の一斉授業による「教師主導の授業」から、「子ども主体の授業」への授業観の転換を進めます。          また、地域社会と連携し、相談支援体制の充実や、教員の働き方改革の推進により、教員が子どもと向き合う時間を確保し、やりがいを持って働き続けることができる環境の整備などを図ります。</p>				
令和5年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 少人数教育の推進		P.144	教育委員会
	○ 子ども主体の授業への転換に向けた取り組みの推進		P.144	教育委員会
	○ ICTを活用した教育の充実		P.145	教育委員会
	○ 県立高校における情報教育の強化		P.146	教育委員会
	○ 教員が意欲を持って働き続けられる環境の整備		P.146	教育委員会
	○ 不登校が起こらない教育環境の充実		P.147	教育委員会
	○ 山村留学の支援		P.148	教育委員会 外
	○ 可能性を伸ばす教育行政の推進		P.148	県民生活部 外
	○ 私立学校の振興		P.149	県民生活部
	○ 学力向上に向けた取り組みの推進		P.150	教育委員会
	○ 心豊かな青少年の育成		P.150	教育委員会
	○ 社会教育の推進		P.151	教育委員会
	○ 産業人材の育成に向けた高校教育の充実		P.151	教育委員会
	○ コミュニティ・スクール等の導入の推進		P.152	教育委員会
○ 一人ひとりに応じた特別支援教育の推進		P.152	教育委員会	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		7,226 百万円	
	前年度までの事業費		一 百万円	
	本年度の事業費		7,226 百万円	

	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成果指標	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	現況値 (現況年度)	進捗率(%)
成果 指標 の 達成 状況	4-2-3 ICTを活用した教育の充実			(教育委員会)	
	児童生徒のICT活用を指導する能力を持つ教員の割合の全国順位(公立学校全体)	22位 (R 4)	5位以内 (R 8)	—	—
	4-2-4 県立高校における情報教育の強化			(教育委員会)	
	教科「情報」に関する学習意欲のある生徒の割合	80% (R 4)	90% (R 8)	87% (R 5)	70.0
	4-2-5 教員が意欲を持って働き続けられる環境の整備			(教育委員会)	
	月当たり正規の勤務時間を80時間以上超過する教育職員の割合(年平均)	7.0% (R 4)	0% (R 8)	6.0% (R 5)	14.3
	4-2-6 不登校が起こらない教育環境の充実			(教育委員会)	
	学校内外で相談支援を受けていない児童生徒の割合	小中 30.6% 高 33.3% (R3実績)	小中 0% 高 0% (R7実績)	小中 33.5% 高 40.0% (R4実績)	小中△ 9.5 高△ 20.1
	4-2-7 山村留学の支援			(教育委員会)	
	山村留学の支援自治体数	—	2自治体 (R 8)	2自治体 (R 5)	100.0
	4-2-10 学力向上に向けた取り組みの推進			(教育委員会)	
	学ぶ意欲(勉強が好き:国語、算数・数学)に関する項目について肯定的回答をした児童生徒の割合	61.5% (R 4)	70%以上 (R 8)	60.4% (R 5)	△ 12.9
	4-2-11 心豊かな青少年の育成			(教育委員会)	
	やまなし少年海洋道中の参加者のうち、参加前と比較して、皆と協力し、人の役に立ちたいという意欲が高まった割合	—	100% (R 8)	100% (R 5)	100.0
	4-2-12 社会教育の推進			(教育委員会)	
	まなびネットワークシステムでの学習情報提供件数	1,030件 (R 4)	1,400件 (R 8)	1,320件 (R 5)	78.4

	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度)	目 標 値 (目標年度)	現 況 値 (現況年度)	進 捗 率(%)
成 果 指 標 の 達 成 状 況	4-2-13 産業人材の育成に向けた高校教育の充実		(教育委員会)		
	高等教育機関等で技術研修を受ける工業系高校生の割合	11.0% (R 4)	19.0% (R 8)	12.3% (R 5)	16.3
	4-2-14 コミュニティ・スクール等の導入の推進		(教育委員会)		
	コミュニティ・スクールの導入率	公立小中学校： 31.9% (全国平均 48.6%) 県立学校：10.0% (R 4)	公立小中学校： 全国平均以上 県立学校：100% (R 8)	公立小中学校： 49.2% (全国平均 58.3%) 県立学校：13.2% (R 5)	公立小中学校： 65.5 県立学校： 3.6
	地域学校協働活動推進員等が配置されている学校の割合	4.6% (R 4)	40.0% (R 8)	30.2% (R 5)	72.3



# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
少人数教育の推進 【義務教育課】 ①②③④	教育指導費 ( 13,283) 11,227 ③④	きめ細かな質の高い教育の実現に向け、計画的・段階的に少人数教育を推進した。 これにより、令和5年4月から小学校3年生に、25人学級を導入した。 ①少人数教育導入に係る効果検証（学校生活意識調査等）の実施 通年 ②少人数教育の導入拡大に向けた検討（少人数教育推進検討委員会の設置準備） 通年 ③小規模校にて特色ある教育活動を実施する市町村への支援 6町村 ④小規模校での特色ある教育活動をまとめたリーフレットを県内公立小中学校全校へ配布
子ども主体の授業への転換に向けた取り組みの推進 【教育企画室】 【義務教育課】 ①②③	———	教員による一斉授業中心の授業から、ICTを活用した子ども主体の授業の実現に向け、公立小学校を推進校に指定し、授業改善に取り組んだ。 これにより、各教科等における授業事例を創出し、子ども主体の授業づくりに寄与した。 ①新たな学びの姿に向けた授業改善推進事業の推進 小学校4校 ②子ども主体の授業づくりのための放課後オンライン学習会の開催 5回 ③令和のやまなし教育活動モデル推進事業による自由進度学習の推進 小学校2校

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
ICTを活用した教育の充実  【教育企画室】 ①③⑨ 【義務教育課】 ①②⑧ 【高校教育課】 ①③④⑤⑥⑦⑧ 【特別支援教育・児童生徒支援課】 ①③ 【学校施設課】 ③	教育指導費 ( 683,980) 671,305 ②③④⑤⑥⑦ ⑧⑨  全日制高等学校管理費 ( 114,539) 113,795 ③	<p>ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、教員のICT活用指導力向上を含めた学校教育におけるICTの実践力の強化を図った。</p> <p>また、民間企業等と連携しながら、STEAM教育*やPBL*といった課題解決型の探究的な学びの機会や県立高校における更なる情報教育の充実に取り組んだ。</p> <p>これにより、学校教育におけるICTの実践力の強化が図られ、質の高い教育の提供に寄与するとともに、課題解決型の探究的な学びや情報教育の充実にも寄与している。</p> <p>① ICT活用指導力向上のための教員研修の実施            ② 学校現場のDXを知り自分ゴトとするワークショップ研修の開催 8回 参加者 494人            ③ 県立学校ICT環境の整備            ④ 低所得世帯への学習用端末購入費の支援(県立学校)(再掲) 595人            ⑤ STEAM教育の実施                教育研究開発指定校 1校                スーパーサイエンスハイスクール指定校 3校                体験型学習プログラムの実施(再掲) 27校 166件            ⑥ 「中高生PBLプログラム」の開催(再掲) 8回 参加者 中学生5人 高校生20人            ⑦ 「情報I」の実践的な学習の推進(再掲) 県立高校28校 履修生徒数3,831人            ⑧ 外部専門家による教員研修の実施(再掲) 2回            ⑨ 山梨大学が実施する「情報」教員の養成・育成に関わる取り組みに対する助成(再掲)</p>



施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																										
不登校が起こらない教育環境の充実  <b>【特別支援教育・児童生徒支援課】</b> ①②③④	教育指導費 ( 210,996) 196,261 ①②③	<p>児童生徒に寄り添い、子どもが通いたいと感じられる魅力ある学校を目指し、教職員が児童生徒の困り感を把握し、その様々なニーズに合った支援を行う研修を実施することで、教職員の児童生徒への理解を深め、対応力を向上させた。</p> <p>これにより、教育相談体制の充実が図られ、いじめの解消や不登校児童生徒へのきめ細かな支援に繋がった。</p> <p>①教職員の児童生徒への対応力を向上させるための研修の実施</p> <table border="0"> <tr> <td>総合教育センター主催研修会の開催</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>小中学校生徒指導主事研修会の開催</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>県立学校生徒指導主事連絡会議の開催</td> <td>6回</td> </tr> </table> <p>②スクールカウンセラーの配置拡充</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校全</td> <td>165校</td> </tr> <tr> <td>中学校全</td> <td>79校</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>12校</td> </tr> </table> <p>③スクールソーシャルワーカーによる関係機関との連携</p> <table border="0"> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー活用事業運営会議の開催</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカーの配置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各教育事務所 (小中学校対応)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>総合教育センター (県立学校対応)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>統括スクールソーシャルワーカー</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>④市町村、支援団体との連携による不登校支援の推進(再掲)</p> <table border="0"> <tr> <td>市町村不登校担当者会議の開催 (再掲)</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>市町村の教育支援センターの連絡会議の開催 (再掲)</td> <td>3回</td> </tr> </table>	総合教育センター主催研修会の開催	14回	小中学校生徒指導主事研修会の開催	5回	県立学校生徒指導主事連絡会議の開催	6回	小学校全	165校	中学校全	79校	高等学校	12校	スクールソーシャルワーカー活用事業運営会議の開催	2回	スクールソーシャルワーカーの配置		各教育事務所 (小中学校対応)	13人	総合教育センター (県立学校対応)	2人	統括スクールソーシャルワーカー	1人	市町村不登校担当者会議の開催 (再掲)	3回	市町村の教育支援センターの連絡会議の開催 (再掲)	3回
総合教育センター主催研修会の開催	14回																											
小中学校生徒指導主事研修会の開催	5回																											
県立学校生徒指導主事連絡会議の開催	6回																											
小学校全	165校																											
中学校全	79校																											
高等学校	12校																											
スクールソーシャルワーカー活用事業運営会議の開催	2回																											
スクールソーシャルワーカーの配置																												
各教育事務所 (小中学校対応)	13人																											
総合教育センター (県立学校対応)	2人																											
統括スクールソーシャルワーカー	1人																											
市町村不登校担当者会議の開催 (再掲)	3回																											
市町村の教育支援センターの連絡会議の開催 (再掲)	3回																											

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
山村留学の支援 【生涯学習課】 ① 【人口減少危機対策 企画グループ】 ②③	教育指導費 ( 2,843) 2,187 ① 企画総務費 ( 7,195) 6,465 ②③	市町村と連携して、民間企業のノウハウも積極的に取り入れながら、山梨の豊かな自然をフィールドとした短期間または長期間にわたる山村留学を支援し、山梨の地域の教育力と魅力の向上を図った。 これにより、子どもの教育をきっかけとした移住や二拠点居住の推進に寄与した。 ①山村留学に取り組む市町村への支援 2町村 ②民間企業、市町村と連携した相談会の開催 3回 ③移住コンシェルジュチームの活動に対する補助(再掲) 7件
可能性を伸ばす教育行政の推進 【私学・科学振興課】 ①② 【教：総務課】	———	知事と教育委員会が、本県の教育についてのあるべき姿を共有し、連携して取り組んだ。 これにより、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育の推進に寄与した。 ①山梨県教育大綱の策定 令和6年3月 ②総合教育会議の開催 2回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果																																													
私立学校の振興  【私学・科学振興課】 ①②③④⑤⑥⑦	私学振興費 ( 5,273,776) 5,257,472 ①②③④⑤⑥ ⑦	<p>特色ある教育を行う私立学校に対し、必要な支援を行うとともに、高等学校のほか、専修学校においても保護者等の経済的負担を軽減し、生徒等が安心して就学等できるよう支援した。</p> <p>これにより、私立学校の教育条件の維持向上・学校運営の安定化及び高等学校・専修学校の生徒等に係る教育の機会均等に寄与した。</p> <p>①私立学校の運営費への補助</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校・中学校・高等学校</td> <td>22校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>5校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種学校</td> <td>1校</td> <td></td> </tr> </table> <p>②私立小中学校が行う災害等特別な事由により生活が困窮した児童・生徒への授業料減免への補助</p> <table border="0"> <tr> <td>中学校</td> <td>3校</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>4校</td> <td>5人</td> </tr> </table> <p>③私立高等学校等就学支援金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校</td> <td>11校</td> <td>13,327人</td> </tr> <tr> <td>高等学校(家計急変)</td> <td>5校</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>1校</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>④私立高等学校奨学給付金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校 [県内]</td> <td>11校</td> <td>411人</td> </tr> <tr> <td>[県外]</td> <td>32校</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>専修学校 [県内]</td> <td>1校</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>⑤私立高等学校等学び直し支援金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校</td> <td>2校</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>1校</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>⑥私立高等学校入学準備サポート事業給付金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校 [県内]</td> <td>11校</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>[県外]</td> <td>4校</td> <td>8人</td> </tr> </table> <p>⑦私立専門学校の授業料等減免に対する補助 12校</p>	小学校・中学校・高等学校	22校		専修学校	5校		各種学校	1校		中学校	3校	5人	小学校	4校	5人	高等学校	11校	13,327人	高等学校(家計急変)	5校	6人	専修学校	1校	4人	高等学校 [県内]	11校	411人	[県外]	32校	100人	専修学校 [県内]	1校	1人	高等学校	2校	9人	専修学校	1校	1人	高等学校 [県内]	11校	103人	[県外]	4校	8人
小学校・中学校・高等学校	22校																																														
専修学校	5校																																														
各種学校	1校																																														
中学校	3校	5人																																													
小学校	4校	5人																																													
高等学校	11校	13,327人																																													
高等学校(家計急変)	5校	6人																																													
専修学校	1校	4人																																													
高等学校 [県内]	11校	411人																																													
[県外]	32校	100人																																													
専修学校 [県内]	1校	1人																																													
高等学校	2校	9人																																													
専修学校	1校	1人																																													
高等学校 [県内]	11校	103人																																													
[県外]	4校	8人																																													

<b>施 策 名</b> <b>【担当課名等】</b>	<b>予 算 科 目</b> (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	<b>施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果</b>
学力向上に向けた 取り組みの推進  <b>【義務教育課】</b> ①②③④	教育指導費 ( 7,965) 6,313  ②③④	児童生徒の学びに向かう力を高め、学力を向上させるため、各種学力調査の結果分析に基づく課題や成果及び授業における児童生徒の学習状況から見られる課題を踏まえ、授業改善を推進した。 これにより、児童生徒の学力の向上につながるための授業改善の推進に寄与した。 ①少人数教育の推進によるきめ細かな質の高い指導の実現 小学校1～3年生 ②県、国の学力調査結果を活用した授業改善（授業改善のポイントの提示・説明会の開催による県内学校への指導） 2回 参加者 248人 ③ICTの効果的な活用による子ども主体の授業改善に向けた学力向上フォーラムの開催 令和5年8月 ④郷土学習教材「ふるさと山梨」を活用した深い学びの実現に向けた取り組みの実施 ふるさと山梨郷土学コンクール 応募者 1,649人
心豊かな青少年の 育成  <b>【生涯学習課】</b> ①②③④⑤⑥⑦	社会教育振興費 ( 2,106) 1,912  ①  青少年総合対策費 ( 4,790) 4,058  ②③④⑤⑥  少年自然の家費 ( 104,306) 103,582  ⑦	子ども・若者を巡る今日的課題に適切に対応するため、「やまなし子ども・若者育成指針」を推進するとともに、体験活動の充実など、将来の地域リーダーを育む取り組みを実施した。 また、行政機関、関係団体、民間事業者等が連携・協力し、多様化する非行・被害の防止など、青少年の健全育成に向けた取り組みを推進した。 これにより、心豊かな青少年の育成に寄与した。 ①青少年体験活動「やまなし少年海洋道中」の実施 参加者 31人 ②「やまなし子ども・若者育成指針」の推進・見直し 青少年問題協議会の開催 令和6年2月 ③青少年育成山梨県民会議の活動への支援 5回 ④青少年社会環境健全化推進会議の開催 令和5年6月 ⑤青少年社会環境健全化推進キャンペーンの実施 2回 ⑥青少年の非行・被害防止推進事業の実施 ほっと！ネットセミナーの開催（再掲） 54回 少年サポートネット推進協議会の開催 令和5年7月 ⑦八ヶ岳少年自然の家の運営 利用者 37,803人

<b>施 策 名</b> <b>【担当課名等】</b>	<b>予 算 科 目</b> (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	<b>施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果</b>
社会教育の推進  <b>【生涯学習課】</b> ①②③④⑤	社会教育振興費 ( 390,366) 372,447 ①②③④⑤  青少年総合対策費 ( 83,941) 82,272 ③  図 書 館 費 ( 294,925) 281,762 ③	急激な社会の変化などにより顕在化・深刻化した地域社会の課題を解決するため、地域におけるコミュニティを支える持続的な社会教育を推進した。 これにより、地域住民のニーズに合わせた学習機会の提供に寄与した。 ①生涯学習推進センターの運営 230 講座 503 回 ②まなびネットワークシステムによる学習情報の提供 1,320 件 ③青少年センター・科学館・県立図書館・八ヶ岳少年自然の家の運営 青少年センター 利用者 93,952 人 科学館 利用者 149,524 人 県立図書館 来館者 693,688 人 八ヶ岳少年自然の家(再掲) 利用者 37,803 人 ④山梨ことぶき勸学院の運営(再掲) 卒業者 101 人 ⑤地域学校協働活動の取り組みの推進 研修会の開催 令和5年11月 地域学校協働活動推進員・支援員の配置支援 3市町・1県立高校
産業人材の育成に向けた高校教育の充実  <b>【高校教育課】</b> ①②③	教育指導費 ( 20,963) 19,495 ①②③	本県基幹産業を支えていくものづくり人材を育成するため、企業実習や企業技術者等による実践的指導等を通じて、新しい時代に求められる技術・技能を身に付けるための教育の充実を図った。 また、地域課題の解決を手法としたカリキュラム開発や事業により、地域資源の魅力に対する理解を深め、本県の課題を解決できる人材を育成するための教育の充実を図った。 これにより、新しい技術を身に付けた人材や地域の活性化・課題解決に貢献できる人材を育成するための教育の充実に寄与した。 ①工業系高校における実践的教育の充実 企業実習、基幹産業理解授業等の実施 参加生徒のべ 2,003 人 甲府工業高校専攻科創造工学科 三期生 県内企業就職率 100.0% (再掲) ②職業系高校の魅力度アップ 県内職業系高校のキャリア追跡調査の実施 令和5年12月～令和6年3月 ③マイスター・ハイスクール事業の実施 1校



施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
コミュニティ・スクール等の導入の推進  【義務教育課】 ① 【高校教育課】 ② 【特別支援教育・児童生徒支援課】 ③ 【生涯学習課】 ④	教育指導費 ( 1,210) 533  ①②	公立小中学校及び県立学校における教育の質を向上させるために、コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動の取り組みを推進した。 これにより、学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の推進に寄与した。 ①コミュニティ・スクール導入に向けた市町村への支援 2市村 公立小中学校導入校 123校 ②県立高校へのコミュニティ・スクール導入支援 県立高校導入校 4校 ③特別支援学校へのコミュニティ・スクール導入支援 説明動画のオンデマンド配信 令和5年12月～ 1本 管理職説明会の開催 令和6年2月 特別支援学校導入校 1校 ④地域学校協働活動の取り組みの推進(再掲) 研修会の開催 令和5年11月 地域学校協働活動推進員・支援員の配置支援 3市町・1県立高校
一人ひとりに応じた特別支援教育の推進  【特別支援教育・児童生徒支援課】 ①	諸費 ( 1,269) 864  ①	児童生徒一人ひとりの障害の状態やニーズに応じた特別支援教育の推進に取り組んだ。 これにより、インクルーシブ教育システムの充実が図られた。 ①「やまなし特別支援教育推進プラン2020」の実現に向けた取り組みの推進 通級指導教室への支援 29校 特別支援教育に関する教員研修の実施 18回 国立特別支援教育総合研究所と連携した研修動画の作成 1本

## 「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	4	躍動する「やまなし」へ進む道
----	---	----------------

政策	3	共生社会化の推進（再掲）	計画掲載施策数	9
<p><b>【政策の基本的な考え方】</b></p> <p>人口減少が続く社会で、支える側の人間をどれだけ増やせるかということが非常に大切です。自分ができるところで人を支える、できないことは人に支えてもらうという形の共生社会をつくるのが地域社会の強靱化にもつながります。</p> <p>特に、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる環境づくりにより、自分らしく活躍できる女性の増加や、若年女性を中心とした本県への定住の促進といった効果も期待できます。</p> <p>このため、男女が協力して子育てを行いながら仕事でも活躍できる働き方を実現できるよう、性別役割分担意識の解消など男女共同参画社会の実現に向けた意識改革や、男性の育休取得促進など企業等の取り組みへの支援・働きかけを行い、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めます。</p> <p>また、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍等にかかわらず、それぞれの希望に応じて、就労や地域での活動が可能となり、社会の担い手として活躍することができるよう、就労支援や地域生活支援、生活と仕事の両立支援等の取り組みを進めます。</p> <p>さらに、外国人住民が不安なく生活・活躍できるよう支援するとともに、子どもの頃から外国人と慣れ親しむ機会の提供等を通じ、多文化共生を推進します。</p>				
令和5年度の主な取り組み状況	項	目	頁	担当部局
		○ 男女共同参画・女性活躍の推進	P.156	多様性社会・人材活躍推進局
		○ 県庁における女性管理職登用の推進	P.157	総務部
		○ シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援	P.157	福祉保健部 外
		○ 障害者の就労支援の充実	P.158	福祉保健部 外
		○ 年齢・障害の有無・性的指向・ジェンダーアイデンティティ等の多様性尊重	P.159	多様性社会・人材活躍推進局 外
		○ 多文化共生社会づくりに向けた支援と環境整備	P.161	多様性社会・人材活躍推進局
		○ 多文化共生コミュニティづくりの推進	P.162	多様性社会・人材活躍推進局 外
		○ 共生社会で活躍する人材の育成	P.163	教育委員会 外
	○ 「姉妹都市 2.0」への発展	P.164	知事政策局	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		474 百万円	
	前年度までの事業費		— 百万円	
	本年度の事業費		474 百万円	

	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成果指標	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	現況値 (現況年度)	進捗率(%)
成果 指標 の 達成 状況	4-3-1 男女共同参画・女性活躍の推進		(多様性社会・人材活躍推進局)		
	社会全体が男女平等と感じる者の割合	9.3% (R 2)	30.0% (R 8)	11.9% (R 5)	12.6
	「山梨えるみん」認定企業数	61 事業所 (R 4)	110 事業所 (R 8)	84 事業所 (R 5)	46.9
	4-3-2 県庁における女性管理職登用の推進		(総務部)		
	女性管理職の割合	13.1% (R 4)	20.0% (R 8)	14.3% (R 5)	17.4
	4-3-3 シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援		(福祉保健部)		
	介護予防に資する通いの場の参加人数	9,517 人 (R 3)	20,000 人 (R 8)	14,807 人 (R 4)	50.5
	4-3-3 シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援		(多様性社会・人材活躍推進局)		
	65歳以上の就業率	29.8% (R 2)	33.5% (R 7)	—	—
	4-3-4 障害者の就労支援の充実		(多様性社会・人材活躍推進局)		
	県内民間企業の障害者雇用率	2.2% (R 4)	2.5% (R 8)	2.25% (R 5)	16.7
	4-3-4 障害者の就労支援の充実		(福祉保健部)		
	県全体の平均工賃月額	19,181 円 (R 4)	25,000 円 (R 8)	23,822 円 (R 5)	79.8
	4-3-5 年齢・障害の有無・性的指向・ジェンダーアイデンティティ等の多様性尊重		(多様性社会・人材活躍推進局)		
	LGBT（性的少数者）について、性の多様性として理解する必要があると考える者の割合	58.3% (R 1)	70.0% (R 8)	65.0% (R 5)	57.3

	(成果指標に関連する) 施策名			(成果指標担当部局名)	
	成果指標	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	現況値 (現況年度)	進捗率(%)
成果 指標 の 達 成 状 況	4-3-6 多文化共生社会づくりに向けた支援と環境整備 (多様性社会・人材活躍推進局)				
	外国人相談支援センター相談件数	380件 (R 4)	600件 (R 8)	1,540件 (R 5)	527.3
	市町村日本語教室設置数	13教室 (R 4)	19教室 (R 8)	15教室 (R 5)	33.3
	SNSプラットフォーム登録者数	100人 (R 4)	500人 (R 8)	298人 (R 5)	49.5
	外国人地域生活サポーター1人当たり対応件数	18件 (R 4)	22件 (R 8)	21件 (R 5)	75.0
	やまなし労働環境適正化推進ネットワークへの参加団体数	71団体 (R 3)	120団体 (R 8)	91団体 (R 5)	40.8
	4-3-7 多文化共生コミュニティづくりの推進 (多様性社会・人材活躍推進局)				
	県内自治体等外国人交流イベント開催数	1回 (R 4)	10回 (R5～8累計)	5回 (R5累計)	50.0
	日本人親子を対象とした研修会・交流会の参加者数	—	100人/年 (R 8)	378人/年 (R 5)	378.0
	4-3-8 共生社会で活躍する人材の育成 (教育委員会)				
	海外の学校等と青少年交流を行っている県立高校数	25.9% (R 4)	100% (R 8)	44.4% (R 5)	25.0
	共生社会への理解が深まった生徒の割合	—	100% (R 8)	100% (R 5)	100.0

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

<b>施 策 名</b> <b>【担当課名等】</b>	<b>予 算 科 目</b> <b>(予算現額)</b> <b>決 算 額</b> <b>[翌年度繰越額]</b>	<b>施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果</b>
男女共同参画・女性活躍の推進（再掲）  <b>【男女共同参画・外国人活躍推進課】</b> ①②③④⑤⑥⑦⑧	男女共同参画費 ( 136,985) 112,723 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧	<p>男女共同参画・女性活躍を推進するため、その大きな障壁となっている性別による無意識の偏見や思い込みの解消に向けた意識啓発や、女性による様々な分野でのリーダーシップの機会確保などに、多様な主体と連携・協働して取り組んだ。</p> <p>また、共生社会の実現に向けて、気運の醸成を図るとともに推進体制づくりに取り組んだ。</p> <p>これにより、男女共同参画・女性活躍の推進に寄与した。</p> <p>①若年層への意識啓発の実施            図画コンクール応募者 310 人            啓発紙「カラフル」の発行 7,300 部            ワークショップ・成果発表会の開催 全 5 回</p> <p>②女性活躍推進ネットワーク会議の開催            令和 6 年 2 月</p> <p>③女性活躍に資する講演会の開催や人材育成            経営者管理職向け意識改革講座の開催            令和 5 年 8 月            ステップアップセミナーの開催 全 17 回            モデル企業への女性人材育成研修の実施 5 社            女性活躍促進シンポジウムの開催 令和 6 年 2 月</p> <p>④「山梨えるみん」認定制度            認定 84 事業所、アドバイザー派遣 60 回</p> <p>⑤配偶者等からの暴力防止に係る対策の実施            職務関係者研修会の実施 4 回            県民啓発講演会の実施 令和 5 年 11 月            DV 被害防止パンフレットの作成 14,700 部            DV 相談カードの作成 3,000 枚</p> <p>⑥多様な主体との連携・協働による施策推進            県民との交流サロンの実施 18 回            県民相談事業の実施 13 回</p> <p>⑦やまなし多様性を認め合う共生社会づくり憲章制定            令和 6 年 3 月            県民意識啓発動画の作成            YouTube 2 本、TikTok 7 本</p> <p>⑧やまなし共生社会推進懇話会の開催 3 回</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>県庁における女性管理職登用の推進(再掲)</p> <p>【人 事 課】 ①</p>	<p>人 事 管 理 費 ( 2,594) 1,964</p> <p>①</p>	<p>管理職に占める女性職員の割合を段階的に増やすため、女性職員を様々な職域に配置し、管理職となり得る女性職員の拡大を進めるとともに、キャリア意識向上に向けた研修を実施した。</p> <p>これにより、能力と意欲のある女性職員の管理職登用が進んだ。</p> <p>①管理職に占める女性職員の割合 14.3%</p>
<p>シニア世代の働く希望を叶える環境づくりやセカンドステージの活動支援(再掲)</p> <p>【健康長寿推進課】 ①②③ 【労政人材育成課】 【生涯学習課】 ④</p>	<p>老 人 福 祉 費 ( 44,265) 41,821</p> <p>①②③</p> <p>社 会 教 育 振 興 費 ( 23,036) 22,004</p> <p>④</p>	<p>高齢者が自ら主体となって、「いきいき百歳体操」等、介護予防に効果的な体操や茶話会、趣味活動等、多様な取り組みを行う「通いの場」の立ち上げを支援し、介護予防とともに地域づくりの取り組みを推進した。</p> <p>また、就労意欲の高い高齢者が増加していることから、高齢者が活躍できる労働環境を整備し、多様な働き方での就労を支援した。</p> <p>これにより、県内の働く意欲のある高齢者の就労の拡大等、高齢者が生涯現役で活躍できる環境づくりに寄与した。</p> <p>①住民主体の通いの場の普及 リハビリテーション専門職を派遣し、住民主体の通いの場の立ち上げを支援 16市町村 241箇所 参加者6,003人</p> <p>②フレイル予防アドバイザー派遣 延べ17回 市町村フレイル予防ネットワーク連絡会及びフレイル予防アドバイザー連絡会の開催 令和6年3月 参加者33人</p> <p>③老人クラブ活動等に対する助成 25市町村、山梨県老人クラブ連合会</p> <p>④山梨ことぶき勸学院の運営 卒業者101人</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
障害者の就労支援 の充実（再掲）  <b>【障害福祉課】</b> ④⑤⑥ <b>【農村振興課】</b> <b>【労政人材育成課】</b> ①②③	知的障害者福祉費 ( 25,004) 25,004 ④ 身体障害者福祉費 ( 33,629) 30,533 ⑤⑥ 職業能力開発校費 ( 34,480) 25,537 ① 雇用対策費 ( 2,195) 1,349 ②③	<p>障害のある方の特性やニーズに応じた職業訓練や職業能力検定等を行うとともに、就職、職場定着を促進するため、障害者就業・生活支援センターや特別支援学校、ハローワークなどと相互に連携し、就職準備期から情報を共有し、職場体験の機会の提供や就業に伴う生活支援を行った。</p> <p>また、障害者施設で働く障害のある方の収入向上や就労機会の確保を図るため、農福連携の取り組みにより、労働力不足を補いたい農家との仲介や障害者施設への農作業の技術的な支援、農福連携商品のブランド化の支援を行うとともに、産福連携の取り組みにより、幅広い産業分野の企業と障害者施設の新たな連携の支援を行った。</p> <p>さらに、障害のある方が、本人の意向や障害特性に応じて、身近な地域で就労できるよう関係機関等が連携（障害者雇用等推進会議）して、課題解決を図った。</p> <p>農福連携や産福連携の取り組みを通して障害者施設の生産活動が促進され、障害のある方の職業意識や能力、さらには、収入の向上に寄与した。</p> <p>①障害者を対象とした職業訓練の実施（9コース） 受講者 35人</p> <p>②障害者職業能力検定の実施 実施回数 6回（5検定 6種目） 受検者 延べ194人（うち認定者 延べ174人）</p> <p>③障害者雇用等推進会議の開催 令和5年9月</p> <p>④障害者就業・生活支援センター就労・生活支援相談 延べ5,690件</p> <p>⑤農福連携 マッチング 56件 初期投資に対する補助 6件 農福マルシェの開催 3回 アドバイザーの派遣 4施設 販売促進に対する補助 4件</p> <p>⑥産福連携 マッチング 54件 アドバイザーの派遣 10施設 障害者施設の表彰 3施設 企業の表彰 6企業</p>

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>年齢・障害の有無・性的指向・ジェンダーアイデンティティ等の多様性尊重（再掲）</p> <p>【男女共同参画・外国人活躍推進課】 ①②③④</p> <p>【健康長寿推進課】 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓</p> <p>【障害福祉課】 ㉔㉕</p>	<p>諸 費 ( 1,309) 333</p> <p>③</p> <p>老人福祉費 ( 39,974) 33,329</p> <p>⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ ⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱ ⑳㉑㉒㉓</p> <p>社会福祉総務費 ( 6,860) 6,209</p> <p>㉔</p> <p>身体障害者福祉費 ( 3,449) 3,446</p> <p>㉕</p>	<p>誰もが自分らしく活躍できる多様性が尊重される共生社会の実現を推進するため、一人ひとりの「選択自由度の最大化」と「参画障壁の最小化」を目指した意識啓発や制度整備に取り組んだ。</p> <p>多様な性への県民理解の浸透を図るとともに、性的少数者の方々がパートナーと充実した生活を営むための一助とするため、「パートナーシップ宣誓制度」を導入した。</p> <p>また、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を充実させるとともに、高齢者ができる限り住み慣れた地域で住み続けられるよう支援体制を構築した。</p> <p>併せて、若年性認知症の方や家族を支援するため、県が設置している若年性認知症相談支援センターにおいて、若年性認知症支援コーディネーターによる福祉・医療・就労など、切れ目のない支援を行った。</p> <p>また、認知症への正しい理解や、認知症の方や家族を温かく見守る活動を促進するとともに、認知症サポーター等が支援チームを作り、地域で暮らす認知症の方やその家族の支援ニーズにあった具体的な支援につなげる仕組みである「チームオレンジ」の立ち上げを支援するなど、認知症との共生に努めた。</p> <p>障害や障害のある方への理解を深め、障害を理由とする差別を解消するため、学校等における障害のある方とない方が交流する機会の創出や、県民や企業等へ障害に対する正しい知識や適切な配慮に関する普及啓発、県及び市町村に配置する相談員の資質の向上を図った。</p> <p>これらにより、共生社会化の推進に寄与した。</p> <p>①やまなし多様性を認め合う共生社会づくり憲章制定（再掲） 令和6年3月 県民意識啓発動画の作成（再掲） YouTube 2本、TikTok 7本</p> <p>②やまなし共生社会推進懇話会の開催（再掲） 3回</p> <p>③性の多様性理解促進事業 教員、行政・企業向け研修会の開催 3回 パンフレットの作成 令和6年3月</p> <p>④パートナーシップ宣誓制度導入（市町村との連携） 令和5年11月開始 県内24市町村</p> <p>⑤認知症初期集中支援チーム員研修の実施 5人養成</p> <p>⑥認知症サポート医養成研修の実施 4人養成</p> <p>⑦認知症疾患医療センターの設置 4箇所</p>



施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
		<p>⑧認知症の人や家族に対する支援交流会の開催 10回</p> <p>⑨認知症コールセンターの設置 1箇所</p> <p>⑩認知症カフェの数 25市町村 59箇所</p> <p>⑪若年性認知症相談支援センターの設置 1箇所</p> <p>⑫若年性認知症支援コーディネーターによる相談等支援 通年</p> <p>⑬若年性認知症自立支援ネットワーク会議の開催 1回</p> <p>⑭若年性認知症に関する研修会の開催 4回</p> <p>⑮若年性認知症に関する本人や家族のための交流会の開催 3回</p> <p>⑯若年性認知症に関する普及啓発、関係機関への周知</p> <p>⑰認知症サポーターの養成 6,251人 累計 127,605人</p> <p>⑱認知症キャラバン・メイトの養成 累計 1,801人</p> <p>⑲認知症サポート事業所 1,003事業所</p> <p>⑳オレンジチューター研修の受講(国研修) 2人</p> <p>㉑チームオレンジ・コーディネーター研修の開催 研修企画1回 全体研修1回</p> <p>㉒共生のための普及啓発 冊子「もしも」印刷配付 2,000部</p> <p>㉓「認知症高齢者見守りシステム」を活用したモデル事業の実施、効果検証 3箇所</p> <p>㉔障害や障害のある方への理解の促進 「障害者の主張大会」の実施 令和5年12月 「やまなし心のバリアフリー推進ポスター」と「標語」の募集 ポスター19点 標語94点 障害者差別解消支援ネットワーク会議の開催 2回</p> <p>㉕手話言語の普及・啓発 手話言語理解促進動画の作成 YouTube 1本 手話言語リーフレットの作成 5,000部 やまなし手話言語の日記念フォーラムの開催 1回</p>

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
多文化共生社会づくりに向けた支援と環境整備（再掲）  【男女共同参画・外国人活躍推進課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	諸 費 ( 16,962) 16,535  ①  企画総務費 ( 58,728) 41,406  ②③④⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩	外国人住民が安心して暮らせるよう、外国人相談支援、日本語習得の支援、SNSを活用した行政情報の提供等を行った。 これにより、外国人住民が自己肯定感を持って不安なく生活・活躍できる多文化共生社会の実現に寄与した。 ①県立国際交流・多文化共生センターの設置 令和5年4月 ②やまなし外国人相談支援センターの設置 相談件数 1,540件 外国人材受入・活用セミナーの開催 3回 市町村外国人支援関係者研修会の開催 1回 ③多文化ソーシャルワーカーの育成・活動支援 国際保育推進研修の開催 4回 外国人患者の対応向上研修の開催 1回 ④外国人地域生活サポーターによる支援 サポーター1人当たりの対応 21件 ⑤やさしい日本語講習の開催 2回 ⑥多文化共生シンポジウムの開催 令和6年3月 ⑦やまなし労働環境適正化ネットワーク参加団体における情報共有や勉強会の実施 参加 91団体 ⑧市町村日本語教室の設置 15箇所 ⑨ SNSプラットフォームの周知 オープンチャット「やまなしのがいこくじん」登録者 298人 ⑩県立国際交流・多文化共生センターホームページの開設による外国人住民向け情報、多文化共生の取り組みを発信 ホームページ開設 令和5年12月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
多文化共生コミュニティづくりの推進（再掲）  【男女共同参画・外国人活躍推進課】 ①③④⑤ 【子育て政策課】 ②	企画総務費 ( 9,890) 8,752 ①③④⑤  児童福祉総務費 ( 3,767) 1,056 ②	外国にルーツを持つ方々に対して、地域社会とのつながりを醸成する取り組みを実施した。 また、外国にルーツを持つ子ども達を受け入れるため、保育士向け研修会や翻訳支援を行った。 これにより、多文化共生コミュニティづくりの推進に寄与した。 ①外国人児童・生徒等への支援 保育所や学校での行事、進路相談における通訳支援の実施 ②保育現場における保育サービスの多様化に対する支援 国際保育の推進（再掲） 保育士等向け研修会の実施 4回 通訳・翻訳支援 30件 ③多様な主体と連携した交流イベントの開催・支援 信玄公祭り甲州軍団出陣外国人参加支援 10人 県民の日記念行事ブース出展 来場者約 200人 甲府えびす講祭りみこし渡御参加外国人 15人 日本人住民と外国人住民との交流運動会の開催 令和5年12月 参加者約 50人 ④「やまなし多文化共生社会実現構想」の周知 地域国際化連絡会議（全国）での施策紹介 1回 市町村国際交流協会等連絡会での周知 1回 海外要人、企業・団体の来訪時等で説明 随時 ⑤地域異文化ふれあい広場の開催 10回 参加者延べ 378人

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
共生社会で活躍する人材の育成（再掲）  【国際戦略グループ】 ①⑤⑥ 【高校教育課】 ①②③④	諸 費 ( 26,482) 23,810 ①⑤⑥  教育指導費 ( 32,776) 29,184 ①②③④	<p>次代の共生社会を担う子どもたちが共生社会の理解と将来への挑戦意欲を育成するために、多彩な背景を有する国内外の人々と出会い、多様な価値観に触れ、将来の挑戦・活躍へのモチベーションを高められる取り組みを推進した。</p> <p>青少年の国際交流活動を活性化させるため、県立国際交流・多文化共生センターを活用して、青少年が姉妹友好地域について学び、交流できる機会と場を提供した。また、子どもたちの実践的な国際理解教育などの充実を図った。</p> <p>これにより、共生社会で活躍する人材の育成に寄与した。</p> <p>①海外の姉妹友好地域との青少年交流の実施            忠清北道青少年交流（高校生）の実施            令和5年11月            忠清北道青少年交流（大学生）の実施            令和5年12月            日中青少年書画展の開催 2回            四川省青少年（オンライン）交流の実施            令和6年3月            クアンビン省青少年交流（高校生）の実施            令和6年1月</p> <p>②地域の文化や産業を支えるグローバル人材の育成            海外インターンシップ（台湾）の実施            令和6年3月            国内留学プログラムの実施 令和6年3月</p> <p>③県立高校における国際バカロレア（IB）の実施            1校</p> <p>④アントレプレナーシップ教育、キャリア教育の実施            体験型学習プログラムの実施 27校 166件</p> <p>⑤県立国際交流・多文化共生センターを活用した国際交流の実施            出張講座で姉妹友好地域を紹介 令和5年10月            姉妹友好地域の紹介パネルを作成・やまなし国際フェスタで展示 令和5年12月            県内小学校・高校等、県民が開催する国際理解教育等の場に国際交流員や専門家等を派遣 13件</p> <p>⑥JETプログラム*参加者による地域の国際化推進            国際交流員の配置 4人            JET 地域国際化塾の開催 令和5年11月</p>

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
「姉妹都市 2.0」への発展（再掲）  【国際戦略グループ】 ①②③④⑤⑥	諸 費 ( 51,950) 48,141 ①②③④⑤⑥	姉妹友好地域との新たな互恵関係を構築し、姉妹友好地域との交流を県民の豊かさに結びつけるため、周年記念事業を契機に姉妹友好地域と覚書等を締結し、本県と姉妹友好地域が相互に連携できる分野について取り組みを進めた。 これにより、より目に見える相互の実益をもたらす交流に寄与した。 ①周年記念事業を契機とした覚書等締結 韓国・忠清北道 令和5年4月 ベトナム・クアンビン省 令和5年9月 ブラジル・ミナスジェライス州 2件 ②韓国・忠清北道 忠清北道訪問団の受入 令和5年4月 本県訪問団の派遣 令和5年8月 忠清北道青少年交流（大学生）の実施（再掲） 令和5年12月 ③中国・四川省 四川省職員の受入 1人 日中青少年書画展の開催（再掲） 2回 四川省青少年（オンライン）交流の実施（再掲） 令和6年3月 ④ブラジル・ミナスジェライス州 ミナスジェライス州訪問団の受入 令和5年11月 本県訪問団の派遣 2回 ⑤ベトナム・クアンビン省 クアンビン省訪問団受入 令和5年9月 本県訪問団の派遣 2回 ⑥日中韓3か国地方政府交流会議の開催 令和5年10月